



Presario520 FORMATからの初期化手順書  
ご用意いただくフロッピーディスク

Disk-Setup (バックアップ)	6 枚
Microsoft Bilingual MS-DOS Operating System Supplemental Disk (バックアップ)	2 枚
COMPAQ サプリメンタルプログラム Microsoft MS-DOS 6.2/V対応	1 枚
Microsoft Windows Operating Systemディスク (バックアップ)	12 枚
オーディオドライブ 対応 Compaq ESS688 コントローラ用	1 枚
ディスプレイドライブ 対応 Compaq CL5424 グラフィックコントローラ用	1 枚
Mouse Ware	1 枚
Windows サプリメンタルプログラム	1 枚
Windows コンピュータセットアップ	1 枚
Compaq Presario 500 シリーズ ユーザーズガイド Compaq用語辞書	1 枚
MS-DOS IDE CD-ROM 対応 Compaq 内蔵 IDE CD-ROM 用	1 枚
Compaq MediaPilot	1 枚
Microsoft Works for Windows セットアップディスク	4 枚
Lotus Organizer	1 枚
A 列車で行こう	3 枚
PC Paintbrush (SYSTEM1、SYSTEM2、クリップアート)	3 枚
ViewIng Lite	1 枚
MaxFax ファックス/電話応答ソフトウェア	2 枚
Compaq Presario 500 シリーズ ユーティリティ	1 枚
TabWorks from Xsoft	2 枚
PC DIAGNOSTICS (診断) TEST&INSPECT ユーティリティ、SETUP ユーティリティ (この2枚は今回使用しません)	2 枚



## Presario 520 FORMATからの初期化手順書

- \*ハードディスクを空にしますので、大切なデータファイルはフロッピーディスク等にバックアップ（コピー）をとってから以下の操作を行ってください。
- \*周辺機器（プリンタ/メモリ、ボード等）を増設されている場合は、パソコンから取り外して操作を行なってください。
- \*「 」の中にある文字を実際に作業します。キーボードから入力、またはマウスでクリックしてください。（入力は大文字・小文字どちらでも結構です。）

### 1. BIOS の初期化（各デバイスの情報を工場出荷状態に戻す作業です。）

電源投入後、カーソルが左上から右上に移動した時に「F10」キーを押します。または、ピピッというPOST音が鳴ったときでも構いません。

DIAGのメニューから「コンピュータのセットアップ」を選択して「Enter」キーを押します。

画面が変わったら、「デフォルト値」ボタンをクリック、確認のメッセージが表示されたら「はい」をクリックします。

画面が戻りますので、「終了」をクリックします。確認のメッセージが表示されたら「はい」をクリックします。自動的に再起動されます。

### 2. ハードディスクのフォーマット

[Disk1-Setup]をドライブに入れてWindowsを終了して電源を切って下さい。3,4秒してから電源を入れてください。しばらく読みこみます。

「キーボードのタイプ判定」を訊かれますので「半角/全角/漢字」キーを押します。106 日本語キーボードが選択されます。「MS-DOS6.2 セットアップ...セットアップへようこそ」で「Enter」キーを押します。

「セットアップを中止する（おすすりめ）」を選択して「Enter」キーを押します。

A:¥> と表示されるので

A:¥>FORMAT C: /U /S 「Enter」キー（はキーボードのスペースキーを押してください）

「注意！ハードディスクのドライブ C:のデータはすべてなくなります。フォーマットしますか？(Y/N)」の確認画面で「Y」を入力して「Enter」します。フォーマットが完了したらボリュームを入力するようにメッセージが表示されますが「Enter」キーを押してください。

A:¥> と表示されるので「Ctrl」+「Alt」+「Del」で再起動をかけてください。

### 3. MS-DOS6.2、SupplimentalDisk、Compaq 外部ドライブのインストール

キーボードタイプで「半角/全角/漢字」キーを押します。

「MS-DOS6.2 セットアップ...セットアップへようこそ」は「Enter」します。

「セットアップを続けて現在のDOSを置き換える」を選択して「Enter」します。

「次のシステム設定でセットアップします」で、指定に問題がなければ「この設定でよい」が選択されている状態で「Enter」します。次々と設定確認画面が出ますが、何も変更せずに「Enter」していきます。

「MS-DOS6.2の組み込みを始めます」はそのまま「Enter」します。セットアップが開始されます。

1枚目のFDからファイルコピーが終了すると「次のディスクをA:に・・・」と要求してきますので、指示に従いFDを入れ替え、セットアップを進めて下さい。

「70ピットディスクドライブからディスクを取り出して・・・」になったらFDを取り出して「Enter」を2回押して下さい。

しばらくしますと

C:¥>

が表示されますので、「Supplimental Disk1」を挿入してから



C:¥>A: [ Enter ]

としてC:ドライブ から A:ドライブ に切り替えて下さい。 A:¥ になったのを確認してから

A:¥>SETUP C:¥\SSPD [ Enter ]

として下さい。

「組み込みのオプションを指定して下さい。」となるので [ A ] を押します。「ディレクトリ・・・は存在しません」とメッセージが出ますので [ Y ] を押します。ファイルの転送が始まります。

「ドライブにSupplemental Disk2・・・」となったらFDを入れ替えて、作業を続行させて下さい。

Supplemental Diskからのファイル転送が完了しましたら、「Compaq サプリメンタルプログラム」FD と入れ替えて

A:¥INSTALL [ Enter ]

します。

「Compaq サプリメンタルプログラムを・・・インストールします」は [ Y ] を押します。データ読み込みがされた後、「Compaq パーソナルコンピュータ サプリメンタルプログラム」画面が出ますので「Esc」キーを押して下さい。「Compaq フォートディスクは・・・インストールされました」になり、C:¥> になりましたらFDをPCから取り出します。

#### 4. Windows3.1 のインストール

「ディスク1」を入れて

C:¥>A: [ Enter ]

として、C:ドライブ から A:ドライブ に切り替えます。そして A:¥> になりましたら

A:¥>SETUP [ Enter ]

として下さい。セッアップが開始されます。

「Windows セッアップについて」を「Enter」します。

「Windowsのセッアップ方法を以下の...」は「高速セッアップ」を選択して「Enter」します。

「キーボードタイプの特定」は「半角/全角/漢字」キーを押して下さい。しばらくするとファイルの転送が始まります。画面の指示に従って作業して下さい。

ファイル転送完了後「Windowsセッアップ」画面になります。「ユーザ名(必須)/会社名(入れなくてもよい)」を入力して「続行」します。入力情報の確認画面になりますので、それでよければ「続行」させます。

「フォントの組み込み」が出ましたら、「ディスク9」を入れて「Enter」しますと、再度セッアップが進められます。引き続き画面の指示に従って作業して下さい。

「プリンタの組み込み」は「プリンタが接続されていません」で「Enter」します。

「Windowsセッアップの終了」になりましたらFDを取り出して「Enter」して下さい。再起動がかかります。

#### 5. CL5424 ディスプレイドライバのインストール

上記で再起動後、C:¥> になりますので「CL5424ディスプレイドライバ」のFDをセッしてから

C:¥>CD WINDOWS [ Enter ]

として、C:¥WINDOWS> になりましたら

C:¥WINDOWS>SETUP [ Enter ]

とします。インストールが開始されます。

「システム情報」画面で「ディスプレイVGA」に合わせて「Enter」します。

「ディスプレイの設定を変更して...」は「その他(ハードウェアメーカーが提供する...)」に合わせて「Enter」します。

A:¥> が出ますので、そのまま「Enter」します。

ディスプレイの環境リストから「Compaq/CL5424 800 x 600 256 16dot Fonts」を指定していただければ問題はないかと思います。

再度「システム情報」に戻ります。そのまま「Enter」します。ファイル転送が始まります。

なお、途中で「Windowsディスク2」を求められることがございますので、その時はその指示に従って下さい。

C:¥>WINDOWS に戻りますので、FDを取り出して下さい。

## 6. Mouse Ware のインストール

「Mouse Ware」FD 挿入後、

C:¥>A:¥INSTALL [Enter]

とします。

「マウス/トラックボール...へようこそ」は「インストール」をクリックします。

「C:¥MOUSE」のまま「続行」します。

「マウス/トラックボール」のまま「続行」します。ファイルコピーが開始されます。

「・・・バックアップされました」は「続行」します。

FD を取り出してから「システムを再起動する」をクリックします。

## 7. Windows 3.11 リモートプログラムのインストール

上記再起動後、C:¥> になりましたら「Windows 3.11 リモートプログラム」FD を入れて

C:¥>A:¥CPQINST [Enter]

とします。

ファイルコピー後、プログラムマネージャが起動してきますので FD を取り出してから「アイコン」-「Windows の終了」-「Windows を終了します」を「OK」します。

## 8. Windows 3.11 ユーザーセットアップのインストール

「Windows 3.11 ユーザーセットアップ」FD を入れて

C:¥>A:¥CPQINST [Enter]

とします。ファイルコピーが開始されます。

FD を取り出してからプログラムマネージャの「アイコン」-「Windows の終了」をします。

## 9. Compaq PRESARIO 500 シリーズ ユーザーズガイド Compaq 用語辞書のインストール

「Compaq PRESARIO 500 シリーズ ユーザーズガイド Compaq 用語辞書」FD を入れて

C:¥>A:¥CPQINST [Enter]

とします。ファイルコピーが開始されます。

FD を取り出してからプログラムマネージャの「アイコン」-「Windows の終了」をします。

## 10. MS-DOS IDE CD-ROM ソフトの再インストール

「MS-DOS IDE CD-ROM ソフト」FD を入れて

C:¥>A:¥CPQINST [Enter]

とします。ファイルコピーが開始された後、C:¥> に戻ります。

## 11. オペイットライバソフトのインストール

上記で C:¥> になっていると思いますので

C:¥>WIN [Enter]

とします。Windows が起動します。

プログラムマネージャが起動しますので「オペイットライバソフト」FD を挿入して、「アイコン」-「ファイル名を指定して実行」をします。

コマンドラインに

A:¥CPQINST [OK]

としますとインストールが開始されます。

インストールが終了すると再度プログラムマネージャに戻ります。「アイコン」-「ファイル名を指定して実行」-「SYSEdit」-「OK」と順に進んでいきます。



「システムディク」が起動されますので、そこから「CONFIG.SYS」をクリックして下さい。画面一番手前に CONFIG.SYS が表示されます。画面中でカーソルが点滅していますので、そのまま「Enter」して下さい。改行され、最上部に一行空きができます。そこに

```
DEVICE=C:\CPQDOS\VOLCTRL.EXE
```

と入力して下さい。

上記文字列を入力したら「ファイル」-「上書き保存」をクリックしてからシステムディクを終了させます。

インストールしたオーディオドライバが正しくインストールされているかを確認しますので、プロパティマネージャの「ウインドウ」-「メニュー」-「コントロールパネル」-「ドライバ」を開いていきます。「ドライバの設定」中に「ESS Audio Driver」及び「ESS Audio Driver MIDI Port」が組み込まれている事をご確認下さい。確認できましたら引き続き「Compaq MediaPilot」のインストールを行って下さい。

インストールが行われていなければ再度オーディオドライバのインストールをやり直して下さい。

#### 12. Compaq MediaPilot のインストール

「Compaq MediaPilot」FD をセットしてプロパティマネージャの「アイコン」-「ファイル名を指定して実行」を開き、コマンドラインに

```
A:\CPQINST [OK]
```

とします。インストールが開始されます。

インストール終了後、FD を取り出して下さい。

#### 13. Microsoft Works for Windows のインストール

「Microsoft Works for Windows」FD をセットしてプロパティマネージャの「アイコン」-「ファイル名を指定して実行」を開き、コマンドラインに

```
A:\SETUP [OK]
```

とします。インストールが開始されます。

セットアップのダイアログボックスが表示されますので、内容を確認しながら作業を続行させて下さい。

インストール終了後、FD を取り出してから「継続」をクリックしてコンピュータを再起動させます。

#### 14. Lotus Organizer のインストール

「Lotus Organizer」FD をセットしてプロパティマネージャの「アイコン」-「ファイル名を指定して実行」を選択します。コマンドラインに

```
A:\INSTALL [OK]
```

とします。セットアップのダイアログボックスが表示されますので、確認しながら作業して下さい。

#### 15. A 列車で行こう 4 for Windows のインストール

「A 列車で行こう・・・」FD を入れてプロパティマネージャの「アイコン」-「ファイル名を指定して実行」を開き、コマンドラインに

```
A:\SETUP [Enter]
```

としてインストールを始めます。

「違うドライバ、またはディスク外にインストールしたい場合は、そのパスを入力して下さい」が出てきますが、何も設定は変更せずに「継続」をクリックして下さい。後は画面の指示に従って作業していただければ結構です。インストールが進み「Setup Disk2 をセットして下さい」とメッセージが出ますので、「インストール元」は変更せず、そのままFD だけを入れ替えて「継続」させて下さい。DISK3 も同様の手順で進めて下さい。

#### 16. PC PaintBrush のインストール

「PC PaintBrush SYSTEM1」を挿入します。



プロダクトマネージャの「アイコン」 - 「ファイル名を指定して実行」にして、コマンドラインに

A:¥SETUP [Enter]

して下さい。セッアップが開始されます。

「プロダクトファイルのインストール先」は「ウィンドウズのシステムディレクトリへコピーする」を選択します。後は画面の指示に従って作業します。

インストールが進んでいくと「クリップアートをインストールしますか？」と訊かれますので「PC PaintBrush クリップアート」のFDと入れ替えてインストールを続行させます。

「クリップアートのコピー」は「全て選択」を指定した後「OK」して下さい。

#### 17. ViewIng Lite のインストール

「ViewIng Lite」FD をセットしてからプロダクトマネージャの「アイコン」 - 「ファイル名を指定して実行」をクリックし、コマンドラインに

A:¥SETUP [OK]

としますとインストールが開始されます。

「ViewIng Lite のセッアップを開始します」は、そのまま「続行」をクリックします。

「ディレクトリ C:¥VIEWINGL は存在しません。新しく作成しますか？」は「はい」にします。

インストールが続行されますので、そのままお待ち下さい。

#### 18. MaxFax のインストール

「MaxFax」FD をセットしてからプロダクトマネージャの「アイコン」 - 「ファイル名を指定して実行」をクリックして、コマンドラインに

A:¥WSETUP [OK]

にします。インストールが開始されます。

「PROMETHEUS」と名前が書かれたガイドブックが出てきますが、設定変更する必要はありません。「OK」をクリックして進めて下さい。

インストールが進んで行きますと DISK2 を要求してきますので、DISK1 と入れ替えて続行させます。

以下は設定変更せず(除ユーザ情報)に、そのまま「OK」で進めていただければ結構です。

- ・モデム設定
- ・ユーザ情報
- ・電話応答機能設定
- ・システム環境設定
- ・ファックス設定
- ・メッセージセンター

「元の WIN.INI は WIN.MAX にコピーされました。元の SYSTEM.INI ファイルは SYSTEM.MAX にコピーされました」を「OK」します。

「メモ帳」にて MaxFax の詳細情報を確認していただきましたら、「ファイル」 - 「メモ帳の終了」でメモ帳を閉じて下さい。

「MaxFax のインストール、設定が完全に終了しました」を「OK」します。

FD を入れたままで Windows を再起動させて下さい。

Windows 再起動後 FD を取り出し、プロダクトマネージャの「アイコン」 - 「Windows の終了」で Windows を終了させて下さい。画面が C:¥> になります。

#### 19. Compaq Presario 500 シリーズ ユティリティのインストール (本FDには以下が含まれております)

<1>本ディスクの各ファイルの登録方法 (README.TXT)

<2>Windows 用 Nifty グループファイル (NIFTY.GRP)



<3>Windows **用-ターミナルファイル** (NIFTY\_P.TRM、NIFTY\_T.TRM)

<4>**プレリオ補足用ファイル**

上記で C:¥> になりますので、

C:¥>MKDIR NIFTY [ Enter ]

として下さい。C:ドライブの直下にNIFTYと名前が付けられたディレクトリが新規作成されます。

「Compaq Presario 500 シリーズ ユティリティ」FDをセットしてから

C:¥>A: [ Enter ]

として下さい。カントドライブ(現在操作している)ドライブがC:ドライブからA:ドライブに切り替わります。

上記作業で、画面上に A:¥> が表示されましたら以下を入力して下さい。

A:¥>COPY A:¥NIFTY\_T.TRM C:¥NIFTY [ Enter ]

A:¥>COPY A:¥NIFTY\_P.TRM C:¥NIFTY [ Enter ]

A:¥>COPY A:¥NIFTY.GRP C:¥WINDOWS [ Enter ]

上記3コマンドを実行し終わりましたら

A:¥>C: [ Enter ]

と実行し、カントドライブをA:ドライブからC:ドライブに切り替えます。

FDを取り出してから、

C:¥>WIN [ Enter ]

として、Windowsを起動させます。

**NIFTYの登録方法** (Windowsのシェルがプロダクトマネージャの場合) について

プロダクトマネージャの「アイコン」-「登録とグループの作成」をクリックします。

「アイコンの登録とグループの作成」で「グループの作成」にチェックを入れて「OK」します。

「グループの登録内容の変更」画面では以下の設定をします。

- ・タイトル ----> NIFTY
- ・ファイル名 ---> C:¥WINDOWS¥NIFTY.GRP

入力後「OK」します。

プロダクトマネージャの「アイコン」-「WINDOWSの終了」でWINDOWSを終了させて下さい。

C:¥> が表示されます。

**プレリオ補足説明のセットアップ**

上記で C:¥> となっていますので

C:¥>MKDIR PRESARIO [ Enter ]

として、新規にPRESARIOというディレクトリをC:ドライブ直下に作成します。

「Compaq Presario 500 シリーズ ユティリティ」FD挿入後、

C:¥>A: [ Enter ]

でカントドライブをC:ドライブからA:ドライブに切り替えます。

A:¥> となりましたら

A:¥>COPY A:¥PREUTY.TXT C:¥PRESARIO [ Enter ]

とします。FDからPRESARIOディレクトリに必要なファイルがコピーされます。

コピー完了後は

A:¥>C: [ Enter ]

としてカントドライブをA:ドライブからC:ドライブに切り替えます。

C:¥> となりましたら

C:¥>WIN [ Enter ]

としてWindowsを起動させます。



### プログラムの補足説明の登録方法 (Windows のシェルがプログラムの場合) について

プログラムの「アイコン」 - 「登録とグループの作成」をクリックします。

「アイコンの登録とグループの作成」で「グループの作成」をチェックして「OK」します。

「グループの登録内容の変更」で、以下を設定します。

- ・タイトル ----> Compaq ユーティリティ
- ・ファイル名 ---> 入力していただかなくて結構です

入力後「OK」します。

上記で作成した「Compaq ユーティリティ」は有効 (= 画面を出したままで) にしたままで、プログラムの「アイコン」 - 「登録とグループの作成」をクリックします。

「アイコンの登録とグループの作成」で「アイコンの作成」にチェックして「OK」します。

「アイコンの登録内容の変更」で

- ・タイトル -----> PRESARIO CDS\_520 補足説明
- ・コマンドライン -----> NOTEPAD C:¥PRESARIO¥PREUTY.TXT
- ・実行時のディレクトリ -----> 入力していただかなくて結構です
- ・呼び出し用のショートカット ---> 入力していただかなくて結構です

上記入力後「OK」します。

### 20. TabWorks from Xsoft のインストール (本ソフトは、Windows 用アプリケーションソフトウェアを全てインストールした後にインストールを行って下さい。)

「TabWorks from Xsoft」FD をセットしてからプログラムの「アイコン」 - 「ファイル名を指定して実行」をクリック、コマンドラインに

A:¥SETUP [OK]

とします。インストールが開始されます。

「TabWorks を Windows シェルとして・・・」と「TabWorks Task Switcher w省略時の・・・」は「いいえ」で進んで頂いて結構です。

README.WRI に目を通されましたら「ファイル」 - 「実行の終了」にします。

「セットアップが完了しました。」を「OK」します。

以上でインストールは終了です。